

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介

◇ 2025年度当初予算案概要(続き)

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp

発行人: 西村恭介 編集: 兵高教書記局

2/10 兵庫県2025年度当初予算案発表

=教育委員会関係 3,513 億 900 万円(対前年度 173 億 6,300 万円増)=

兵庫県は2月10日、2025年度当初予算案を発表しました。一般会計予算は2兆3,582億円で昨年度より19.2億円増(+0.8%)、県教育委員会関係の予算は約3,513億円で昨年度より173億6,300万円増(+5.2%)となっています。なお、2025年度教職員定数案も同時に公表されています。

県教育委員会は、施策展開の方向性として「第4期兵庫教育創造プランにおいては、本県教育の基本としてきた『兵庫が育む』この豊かで自立する人づくり』を基本としながら、第3期重点テーマ『未来への道を切り拓く力の育成』を継承しつつ、更なる本県教育の振興を図るため、第4期重点テーマとして『絆を深め、在りたい未来を創造する力の育成』に取り組み」としています。

予算区別にみると、教育推進費(+82.9%)、GIGAスクール構想加速化事業費を除くと18.6%、学校運営費(+0.4%)、人件費(+1.5%)が増額、学校設備費(▲1.4%)、高等学校等就学助成費(▲2.2%)が減額されています。

県立学校に関する事業としては、①県立学校の環境充実事業として32.8億円(+1.5億円)、新たな特別支援学校の整備等として67.4億円(+42.4億円)、③ひょうご不登校対策プロジェクトの拡充として「不登校児童生徒支援員」の配置支援に2.7億円(+0.6億円)等が計上されています。この他「教育費負担の軽減」として①県立大学の授業料等無償化に13.8億円(+8.6億円)、②奨学金返済支援制度の拡充に1.9億円(+0.2億円)、③私立高校等の授業料軽減補助に10.9億円(+1億円)が予算化されています。このうち、県立大学の授業料等無償化については、県立大学以外の大学に在学・進学する学生・生徒は当然対象外であり、無償化の恩恵を受けることのできる学生が極めて限定されることから、高等教育等の負担軽減策として公平性に疑問が残ります。

県教育委員会の予算要求の概要(主要事項)のうち、県立学校に関する主な新規事業等は以下の通りです(※は一部国庫、☆は国庫、**新**は新規事業)。

「確かな学力」の育成

- ◆**県立高校ふるさと共創プロジェクト** **新** (7,700万円)
地域資源の活用等の学び・発信を通じて、地方創生に貢献する人材育成を支援。(全県立高校153校対象、50万円/学校)

「豊かな心」の育成

- ◆いじめへの対応
「心の健康観察」の導入 **新**
いじめ見逃しゼロをめざし、県立学校において「兵庫県版ストレスチェックシート(試案)」を活用した心の健康観察をモデル校に導入。
指定校 県立学校10校(2校(全・定)/各学区)
内容 BYOD端末を活用した「兵庫県版ストレスチェックシート(試案)」の活用

「健やかな体」の育成

- ◆**学校給食費等負担軽減事業** **新** (735万8千円)
学校給食を実施する県立学校および寄宿舎食を実施する県立特別支援学校において、保護者負担軽減のため、物価高騰による給食費等増額分を補助。
- ◆**2026年度全国高等学校総合体育大会兵庫県の開催準備** **新**
(体操、登山、カヌー、空手道の4競技、1,277万4千円)
- ◆**第46回近畿高等学校総合文化祭の開催準備** **新** (261万9千円)

社会的自立に必要な資質・能力・態度の育成

- ◆**小・中・高12年間を繋ぐキャリア教育実践研究充実事業** **拡**
・**キャリア教育実践研究事業** **新** (2025~2026年度)
指定校 18校(小・中・高 各6校)
内容 兵庫版「キャリア・パスポート」を活用した小・中・高の連携等

- ・**キャリア教育オンライン研修の開催** **新** (2025年度)
- ・**小・中・高12年間をつなぐキャリア教育シンポジウムの開催** **新** (2026年度)

特別支援教育の推進

- ◆**高等学校における特別な支援を必要とする生徒の支援** **拡**
(4,561万5千円)
・学校生活支援員(肢体不自由への支援)21人(24年度19人)
・学習活動自立支援員(発達障害等への支援)54人(24年度43人)
- ◆**キャリア教育・社会参加推進事業** **拡** (1,843万8千円 ※)
・就職支援コーディネーターの配置 3人(24年度2人)
・技能検定の実施について、会場校の検定に加え、校内検定を実施する学校にも対応
- ◆**インクルーシブな学校運営モデル研究事業** **拡** (437万円 ※)
・カリキュラムマネージャーの配置(1人)
・連携協議会の開催(年3回) ・先進地域視察

学校・家庭・地域との共同による豊かな学びの推進

- ◆**学校を核とした地域連携促進事業** **拡** (6,729万5千円 ※)
・県立学校における法に基づく学校運営協議会の設置に係るとりくみ学校運営協議会の設置 コーディネーターの配置(国1/3、県2/3)

教育DXの実現にむけた教育の情報化の推進

- ◆**県立学校教育DXの推進** **新**
・**教育DX推進室の設置**
組織概要 教育DX推進官、教育専門職、教育行政職 等
推進概要 ICT活用環境の整備 教育DXプラットフォームの構築・運営・管理
教育DX推進校に対する指導・助言

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

・教育DXプラットフォームの構築

各種学習系のデータを有効活用するため、生徒BYOD 端末や指導者用端末から、学習ログや活動履歴等を集約・蓄積し、それらの学習データを生成AI等を活用して可視化・分析することにより、個別最適な学びに向けた授業改善や照会・調査への活用による働き方改革などにつなげる。

・教育DXの推進

[教育DX (学習指導)]

県立学校教育DXプラットフォームの活用研究

リーディングDXスクール

高等学校(特別支援学校高等部)DX加速化推進事業

[教育DX (生徒指導)]

心の健康観察導入(再掲)

[校務DX]

BYOD・一人一台端末を活用した成績処理業務改善事業

校務における生成AI利活用実践事業

◆県立学校学びのイノベーション推進事業 拡

(13億1,512万4千円)

◆体育館・講堂等の無線LAN環境整備 拡 (3億6,100万円※)

[2024年度2月補正対応]

◆GIGAスクール構想加速化事業 拡 (126億9,120万8千円)

◆リーディングDXスクール事業 新 (100万円☆)

学校における教育活動の高度化の実現を図るため、対象校を指定し、BYOD 端末のソフトウェアとネットワーク環境や、外部有識者などを活用した授業改善、校務改善の具体的な事例の創出・モデル化、普及・展開を図る。

対象校 指定校1校、協力校4校(各学区1校)

内容 外部有識者講義(指定校で開催)

学校DX戦略アドバイザー等による指定校・協力校での研究助言等

◆高等学校(特別支援高等部)DX加速化推進事業 拡

指定校 県立高等学校41校(13校増)

県立特別支援学校6校(3校増)(3億2,900万円☆)

◆教員のICT活用指導力の向上

・兵庫県GIGAスクール運営支援センター設置事業

(5,766万4千円※)

◆ICTを活用した業務効率化の推進

・公立高等学校等インターネット出願・決済システムの本格運用 拡

2026年度入試全校運用 (1,535万円)

・校務における生成AIの活用 新 (200万円)

校務等において生成AIを活用することで、業務の「見える化」を行うとともに、生成AIを活用したとりくみについての事例を創出

実施主体指定校 2校(協力校各2校)

実践内容 教員研修のための生成AI専門家の派遣、先進校への視察(生成AIパイロット校)等

修学環境の整備・充実

◆安心・安全な教育環境整備の推進

・県立学校長寿命化改修の実施 (40億千円)

実施校 8校(西宮今津高等学校 他)

・県立学校の学習環境の整備・充実の推進 (17億5,614万3千円)

・県立学校環境充実事業 (21億5,409万7千円)

①選択教室の空調整備 (3億8,250万円)

対象 県立学校の選択教室96室 ※特別教室5教室に加えて、少人数教育等で利用が増えている選択教室

②避難所指定体育館の空調整備(9億9,000万円)

対象 避難所指定を受けている高等学校18校

③発展的統合校の特色づくり(2億7,517万9千円)

内容 講義棟等新しい学習環境の整備

対象 発展的統合校

④緊急修繕・環境改善事業の強化(5億641万8千円)

・ひょうごの未来を担う高校生等の部活動等応援事業 拡

(4億600万円)

備品等整備、グラウンドの芝生化のモデル整備(伊丹北)

・学校図書館のラーニング・コモンズ化事業* 新 (1,000万円)

県立高校5校において学校図書館をベースに情報通信環境を併設した施設(ラーニング・コモンズ)を整備

・県立阪神昆陽高等学校食堂改修事業* 新 (3,000万円)

*上記2事業は(公財)三木瀧蔵奨学財団特別教育助成による。

・県立学校教育環境向上事業 新 (7億6,800万円☆)

[2024度2月補正対応]

生徒個人用ロッカーや教室等で使用する教育用具・備品の整備を集中実施

◆教育費負担軽減に向けた経済的支援

・就学支援事業 (84億9,328万7千円※)

家庭の教育費負担を軽減するため、授業料に充てるための就学支援金を支給

・高校生等奨学給付金事業 拡 (12億2,495万1千円※)

対象世帯		年間支給額	支給の考え方
生活保護	全日制・定時制・通信制	32,300円	修学旅行費
非課税 (年収約270万円未満世帯)	全日制 定時制	第1子 拡 131,500円 ★9,400円増額	教科書費、教材費、 学用品費、通学用品費、 教科外活動費、生徒会費、 PTA会費、入学用品費、 オンライン学習通信費
		第2子以降 ※ 143,700円	
	通信制・専攻科	50,500円	教科書費 教材費 学用品費 オンライン学習通信費
年収約270~380万円未満世帯 拡	専攻科	10,100円	
年収約380~600万円未満の多子世帯 拡	専攻科	10,100円	

※15歳以上23歳未満の扶養されている兄弟姉妹がいる場合(負担割合 国1/3、県2/3)

質の高い人材の確保、資質・能力の向上

◆教員採用試験の工夫・改善 拡 (1,012万9千円)

12/19公表の変更点(常勤の臨時講師を対象とした第1次選考試験一部免除、等)に加え、「東京」試験場を新設

など

※以下のリンクより「2025年度当初予算(案)の概要」および「2025年度当初予算(案)補足説明資料」がご覧いただけます(県教育委員会Webサイト)。

<https://www2.hyogo-c.ed.jp/hpe/somu/r7yosan>

